

西宮ユネスコ協会

西宮ユネスコ

2017.3 第146号

発行所：西宮ユネスコ協会（西宮市六湛寺町8-26 西宮市教育委員会内 TEL 0798(35)3892・FAX 0798(36)1208）
 発行人：古 胡 博 巳 編集人：小 林 民 子



平和への架け橋構築に「考動」

会長 辰馬 章夫

民間ユネスコ運動発祥 70 周年の本年、日本ユネスコ協会連盟の松田昌士会長は「近年世界情勢はますます混沌とし疑惑と不信、不寛容の蔓延、不安定化が強まっている。改めて『広げよう平和の心を』の原点を見つめ直し、平和な世界、持続可能な社会の実現のための教育の実践にむかって行動していきましょう」と呼びかけておられます。

Life Together をリードしなければならない大国にグローバリズムからナショナリズムへ排除と分断の壁が築かれようとしています。端っこが無いはずの丸い地球の片隅で泣いている人々が増えていくことを憂えます。人と人をつないでいるのは、高度化されたネット社会です。つながりを分断する壁社会、お互いの顔が見えないネット社会、そこには暖かい心が感じられません。電子文明は私たちに多くの恵みをもたらす反面、悪用による多大なリスクをはらんでいます。今、街にはいたるところに防犯カメラが設置され、生活の安全をアシストしてくれています。でもその街が人のつながりに乏しく、カメラの監視だけに安全を託す社会であるとすれば心寂しいものです。暖かい心を持った人々がしっかりつながった見守り合いの目はどんな高性能のカメラよりも勝ります。ネット社会はどんどん高度化していきますが、それをつくった人間の方は果たして高度

化しているでしょうか。極端なネット依存は、人間が自分で考えることをしなくなり感覚を退化させるように思えてなりません。五感を鍛えるべき子どもたちの感性も育ちません。食生活でも利便性を優先して調理済の食品ばかり求めると食材への知識もなくなっていきます。高度化した科学技術の活用には温もりあるアナログのブレンドが不可欠です。ブレンドは単に混ぜ合わせるのではなく、持ち味や特性を引き出し合いながらより深い味わいや相乗力を醸成することです。

千玄室ユネスコ親善大使の掲げられる「一盃からピースフルネスを」は、地球というお茶室で上下なくお茶をすすめ合うおもてなし外交です。弊社の1000石入り貯蔵タンクは、ひとりで毎日一合飲んでも飲み干すのに何千年もかかります。でも何百万人もの人が飲めばたちまち空になります。一盃のお茶、一合の酒、そして一枚の書きそんじハガキの累積は大きな力に成長します。人の喜びを我が喜びとする心を持って手を携えれば、それは必ず平和の心を広げる好循環につながると信じます。西宮ユネスコ協会の活動は「一盃のお茶」ですが、温もりの相乗力への進展を期し、分断の壁を平和への架け橋にかえていくことを使命と心得、「考動」して参りましょう。（辰馬本家酒造(株)取締役相談役）



新年会出席

大前 はるよ

1月14日土曜日、ノボテル甲子園にて恒例の新年会が行われました。和やかな雰囲気の中で、辰馬会長より酒樽を示す「酉」という酉年の漢字の由来についてなどユーモアに富んだご挨拶がありました。

参加者の自己紹介の後、お食事を頂きながら、同じテーブルの方々とどんなきっかけでユネスコ協会に入られたのか等お話をしました。私はユネスコ協会に入ってからまだ日が浅いので知りませんでした。多くの方が10年以上など長らく会員として活動しておられるとのことでした。それぞれのきっかけも大変興味深く、ご主人のお母様がユネスコ協会の会員で、お誘いを受けて入会され、今日まで20年以上活動してこられた方がいらしたり、学校のPTAの役員のつながりで入ったことがきっかけで、お子様が学校を卒業して以降も会員を続けておられるなどお聞きして、ユネスコ協会には社会貢献的な意味合いだけではなく、人と人とのつながりづくりにもなっているのだと感心しました。



お食事の後はみんなで歌を歌いました。唱歌や昭和のヒット曲など、中には初めて聴くものもありましたが、普段の会話では使わないような美しい日本語や、日本の豊かな自然を表現した歌詞やメロディーなど、歌いながら日本語の素晴らしさを実感しました。

西宮ユネスコ協会では、絵画を通した子供たちの教育活動支援を行われていますが、音楽についても、日本の豊かな自然や日本語の美しさを子供たちに継承してもらえるような活動を今後考えていってもいいのではないかな、と思いました。

まだまだ新米の会員ですが、ユネスコ協会での活動を通して社会に貢献していくことはもちろん、会員の皆さんとの交流もさらに深めていけたら、と実感した新年会でした。ビンゴや音楽など、事前準備から当日の進行等、ご苦労頂いた役員の皆様、本当にありがとうございました。

東日本大震災こども支援募金



西宮ユネスコ協会では、「東日本大震災こども支援募金」に協力するため、毎年支援金を拠出していますが、協力の一環として募金活動も行っています。

今回は2月5日(日)、11時30分から13時まで阪急西宮北口アクタへの通路で行いました。

今回も前回同様、西宮市立西宮東高校生徒会から8名の皆さんが参加していただきました。皆さん1年生で、募金活動は今回が初めてだったそうですが、元氣よく大きな声で募金を呼び掛けてくださいました。当日は雨が降り寒い日だったので大変だったと思います。しかし、生徒会の皆さんの応援でしっかり募金ことができました。寄せられたお金は全額日本ユネスコ協会連盟へ送金しました。

今回も同校生徒会指導部長の幣慎嗣先生、西宮市教育委員会人権教育推進課の野田昭治課長にも大変ご尽力いただきました。厚く感謝申し上げます。

『募金活動に参加して』

西宮市立西宮東高等学校 生徒会副会長 矢口 幸実

先日、私は生徒会としてこの募金活動に参加しました。今までこういう活動をしたことがなかったので、最初は大きな声で呼びかけをすることに緊張しました。少し時間はかかってしまったけれど、声を出していくうちにだんだんと慣れ、通行していく人にしっかりと募金活動の目的も言えるようになりました。募金してくださった人の中には「お疲れ様」とか「頑張ってね」などの一言を私たちにかけてくださいました方がいてすごく心が温くなりました。おかげで寒かったけれど頑張りがきることができました。大人になると募金などの活動がしにくくなるので、高校生の今のうちにもっと色々、募金活動だけでなく他のボランティア活動にも参加していきたいと思いました。今回の皆で集めた資金が少しでも東日本大震災で被害にあった子供たちの役に立つことができれば嬉しいです。



文楽初体験



昭和初期、私の生れ育った大阪西区新町から長堀川に掛った佐野屋橋を南へ渡った直ぐ前に四ツ橋文楽座があったのです。私は恥ずかし乍ら今まで日本の古典芸能に疎く、歌舞伎こそ東西で観ていましたが文楽は観た事がなく、ユネスコのお蔭で生れて初めて文楽劇場へ行く事が出来ました。一番驚いたのは舞台も人形も大きい事でした。更に三人掛けで扱う人形の動きが細やかさを伴った大振りで、使い手が草鞋をつけた高下駄で船底を左右に動き廻って演じている事でした。最も解りにくいのは太夫の語る浄瑠璃で、老若男女身分の違う何通りかの人物を一人で語っている中身が殆んど解らず、まだ三味線の撥擲きによる表現の方が感じ易かったのです。以上が文楽初体験の感想です。借りたイヤホンによる解説で何とか内容は理解出来ましたが、将来は一部のオペラに見られるようにスーパーインポーズが舞台左右に出るようになればより解り易くなるのではないかと思います。何はともあれ一流の芸に接する事が出来充実した楽しい一日でした。(T. T. 生)

◆◆◆ 国際理解講座 (I) ◆◆◆ “絵本で世界のとびらを開こう”

1月28日(土)今年度第1回国際理解講座が、講師やまねかずこさんを迎えて若竹生活文化会館で開催されました。やまねさんはイギリス、イタリアへ語学留学され特にイタリア語に格別の興味をもたれたことで、イタリア絵本の翻訳という道に出会われました。東京にある「いたばし国際絵本翻訳大賞」コンクール、イタリア絵本翻訳部門に応募されました。主催者から提示された条件は、直訳“とびっきりのびっくり”の絵本一冊、対象は幼児という2点です。翻訳で一番悩まれたことは、“幼児”が理解できる身近な言葉や擬音をみつけること、例えばマラカスの音は“シャカ・シャカ”。“変わる”は“変身!” “親しくなる”は“なかよし”などというように。“なかよし”という言葉を「心あたたまる愛のことば」と訳したことが評価され、数人のライバルの中からやまねさんが選ばれ「第20回いたばし国際絵本翻訳大賞」を受賞されました。タイトルも“とびっきりのびっくり”から「とびっきりのおむかえ」に変えました。

幼児期に出会う絵本から、子どもたちは多くのことを学び心豊かに成長します。翻訳という仕事の興味深い講演でした。

世界遺産シリーズ

カトマンズ盆地の古都「パタン」

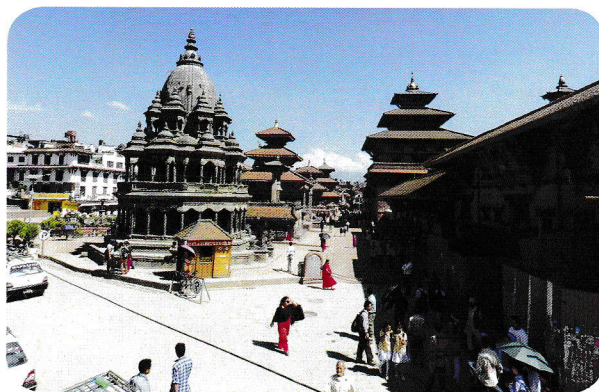
田岡 清志

ヒマラヤトレッキングの帰りに空港からタクシーでユネスコの世界遺産「カトマンズ盆地」の一部として登録されている古都パタンへ出かけた。

パタンは、カトマンズ盆地の南西部に位置するカトマンズ盆地で最も古い歴史を持つ街で、ダルバール広場を中心に当時の王宮をはじめとする多くの文化財が残されている。カトマンズに比べ主要な歴史的建造物がコンパクトにまとまっており、歴史を探访する散策には丁度良いスケールで気に入っている。

ダルバール広場から王宮に入ろうとすると日本語でガイドするというネパール人が言い寄ってきた。「ここに来るのは2度目なのでガイドはいらない」というと「タダでもいいから」としつこく絡んでくる。無視して王宮を見学した。ダルバール広場を散策した後、ゴールデンテンプルと呼ばれる寺の見学に行った。自称ガイドはつかず離れずついてくる。

この寺院はネパール仏教の寺院で、三方を囲む回廊の形をした本堂は金箔で覆われ仏像も金色に輝いている。中央の中庭には仏像を安置する小さな祠堂が建っている。回廊にはブッダの生涯を描いた絵や様々な仏像が所狭しと安置されており、巡っていると様々な発見がある。信者の線香の煙が漂ってくる。この寺院は成金趣味の寺院ではなく地域の人たちの信仰の場として機能しているのだ。



見学が終わると自称ガイドが兄の経営している「マンドラ」の店に寄れと言う。何のことはないこの店の客引きだったのだ。

お腹がすいた。ダルバール広場のそばの「ネワールの飲み屋」に入る。ビールとネパール風お好み焼き「バラ」を頼む。豆をすり潰し香辛料を加え丸く形作って焼いたもので味はソースの塗っていないお好み焼き。優しい味がする。いやあ、気持ちがいい。世界遺産の旅は心とお腹を満腹にする。

坂田記念セミナー

「県庁・兵庫県公館を見学して」

藤村 絵里

2月24日(金)18名で県庁・兵庫県公館を見学しました。小学生の頃学校から県庁見学に行きましたが、殆ど覚えてなく立派な公館は存在も知りませんでした。神戸の街並みに馴染むルネサンス様式の建物は、明治35年に県庁として建設され、昭和60年に迎賓館と県政資料館の機能を併せ持つ兵庫県公館となり、小磯良平氏はじめ兵庫県出身の芸術家達の作品が数多く展示されています。兵庫県知事の初代が伊藤博文であった事も知りませんでした。そしてソーラーパネルを貼った県庁は私の祖母の通っていた女学校の跡に建てられています。私も神戸の学校に通い懐かしく、屋上から海と山を背景に持つこの美しい街のまさにこの場所に、大好きだった祖母の若い日々があったのだと非常に感慨深く、今回この見学に参加でき寒い日ではありましたが温かい気持ちになれました。



事務局だより

☆阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業

第37回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業は、2016年10月10日(祭)、宝塚市立宝塚文化創造館で開催されました。宝塚ユネスコ協会会員で日本考古学協会会員の直宮憲一氏による講演「歌劇の街・宝塚を訪ねて」があり、宝塚の歴史を話していただきました。同館は、旧宝塚音楽学校で、宝塚歌劇の歴史を「すみれミュージアム」として2階に展示されており、会の終わりに拝観しました。

☆近畿ブロックユネスコ活動研究会 in 吉野山

2016年度近畿ブロックユネスコ活動研究会は、2016年10月15日(土)に奈良県吉野町の竹林院群芳園で開催されました。基調講演は「日本一の桜の名勝吉野山と修験道」と題して金峯山寺官領の五條良知氏が、「成熟した世界遺産のあり方を目指して」として文化庁記念物課文化財調査官の鈴木地平氏が話されました。



☆第21回西宮国際交流デー

今年の西宮国際交流デーは2月4日(土)、フレンテ西宮4F・5Fで開催され、多くの来場者でにぎわいました。「にしのみやから広げよう多文化の和」をテーマに、恒例の留学生日本語スピーチ大会や民族音楽パフォーマンスなどのほか、留学生による日本の唱歌のコーラスなども披露されました。西宮ユネスコ協会は今年もミニバザーで参加しました。

協会日誌

(2016年10月～
2017年3月)

- '16.10.10 第37回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業
講演「歌劇の街 宝塚を訪ねて」
(宝塚市立宝塚文化創造館)
- 10.15 近畿ブロックユネスコ活動研究会 in 吉野山
～16 (奈良・竹林院群芳園)
- 11.5 「にしのみやふるさとウォーク 2016」
(西宮市立門戸幼稚園～能登運動場)
- 11.11 阪神間ユネスコ協会連絡会②
(園田学園女子大学会議室)
- '17.1.5 英語教室第Ⅲ期開講
- 1.14 新年理事会、懇親会(ノボテル甲子園・愛宕の間)
- 1.23 文楽鑑賞会 (国立文楽劇場)
- 1.28 国際理解講座「Ⅰ」(市教委共催)
講演「絵本で世界のとびらを開こう」
講師 やまねかずこ氏
(若竹生活文化会館)
- 2.4 第21回西宮国際交流デー(フレンテ西宮4F・5F)
- 2.5 募金活動「東日本大震災こども教育支援」
(阪急西宮北口アクタへの通路)
- 2.24 坂田記念セミナー「兵庫県庁見学」
- 3.17 阪神間ユネスコ協会連絡会③
(伊丹市立文化会館)
- 3.21 第32回ユネスコ世界児童画展(市教委共催)
～26 (市民ギャラリー)
- 3.25 国際理解講座「Ⅱ」(市教委共催)
講演「パンを通して知る世界」
講師 谷口佳典氏(フリアンドシェフ)
(西宮市立中央図書館集会室)
- 3.31 会報146号発行

— 今後の催しの予定 —

- '17.4.6 英語教室第Ⅰ期開講
- 5.13 2017年度通常総会
- 7.15 第73回日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台
～16 ー民間ユネスコ運動70周年記念ー
- 8. “みんなく探検”(市教委共催)
- 9.7 英語教室第Ⅱ期開講
- 9. 第45回ユネスコチャリティーバザー
- 9.末 会報147号発行
- 10. 第38回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業
(西宮ユネスコ協会)

***** お知らせ *****

2017年度総会は5月13日(土)に開催します。

西宮ユネスコ協会の2017年度定例総会は5月13日(土)、西宮市役所東館8F大ホールで開催されます。また総会後のミニコンサートは、西宮市吹奏学会による楽しい吹奏曲の数々を演奏していただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。